**一湊集落**

屋久島の北岸に位置する世帯数約350の集落。堅い絆で結ばれた一湊は、島で6番目に大きな集落です。漁業が盛んで、特にゴマサバとトビウオが有名です。賞に輝いた「首折れサバ」（朝獲れたばかりのサバの首を折り、すぐさま血抜きをして、その日に刺身としていただく）は特別なごちそうです。というのも、その日に水揚げされたサバの大半は出汁用の高級なサバ節に加工するために使われるからです。

　夏になると浜には海水浴を楽しむ人たちがたくさん訪れます。港付近にはすばらしいダイビングスポットがあり、そのなかには第二次世界大戦で沈没した戦闘機が数多くの亜熱帯のカラフルな魚の棲家になっているところがあります。早起きをして、日曜日以外は毎朝6時に波止場で行われる魚のセリに参加して一湊を満喫しましょう（ただし、天候が荒れると船は出港しません）。公民館の前にある地図には、観光スポットをほとんど網羅する2～4時間の散歩コースが紹介されています。